



あいさつ響く鶴喜小学校

「おはようございます！」
七月の初め、鶴喜小学校では、毎朝気持ちのよいあいさつが響いています。それは校内であいさつキャンペーンが行われていたからです。

ここ数年は、コロナ禍でマスクをした生活を強いられ、友だちとは距離をとらなければならず、大きな声もあまり出せませんでした。「大きな声であいさつをしましょう！」となかなか指導しづらい状況が続き、校内で気持ちのよいあいさつが聞かれることはほとんどなく、とてもモヤモヤした気持ちでいました。

私は、小さい頃から「あいさつはすればするほどよいものだ」、という認識がありました。私自身、小学生の頃、剣道を習った経験があり、あいさつは腹から声を出し大きな声でする習慣がついていたのかもしれない。また、小さい頃に母親と出かけたとき、「お母さんより先に会った人にあいさつできるの、えらいね」と褒めてもらって、嬉しい気持ちになったことを今でも覚えています。一方、私の家は自営業をしていたのですが、お店でお客様に会ったときにあいさつができなくて、あとから何回もお店であいさつの練習をさせられた苦い経験もあります。あいさつを通していろいろな経験をし、多くの人と関わる中で、「あいさつはすればするほどよいものだ」という認識が育ち、今に至っているのだと思います。

さあ、コロナ禍が明けました。子どもたちの気持ちのよいあいさつを復活させたいと思います。あいさつは、鶴喜小学校で大切にしている三つ

の「あ」である、「あいさつ」「あつまり」「あとかたづけ」の一つでもあります。

そこで小学校のリーダーである六年生と、先生たちで考えたのが「あいさつキャンペーン」です。期間中は児童玄関で六年生や先生たちが「おはようございます！」と大きな声であいさつをし、それに応えるように登校してきた子どもたちが「おはようございます！」「元気よくあいさつを返しています！」と元気がよくあいさつを返していました。あいさつキャンペーンには、六年生や先生たちそれぞれに考えたオリジナルの賞もあるで、子どもたちは「笑顔で」「大きな声で」「自分から」「誰にでも」など、考えて工夫しながらあいさつをがんばっていました。鶴喜小学校は現在校舎改修工事のため校内で業者の方に会うことがあるのですが、今年度私が担任している一年生が「こんにちはー!!」と工事の業者さんに大きな声であいさつをしているのを見て、こちらもとても気持ちよくなりました。

あいさつは、道具もお金も必要ない、いつでも誰でもできる最高のコミュニケーションツールです。子どもたちにはぜひ、家族にも、地域の人にも、学校の友だちや先生にも、自分から気持ちのよいあいさつをしてほしいと思います。二学期からも、鶴喜小学校の校内で気持ちのよいあいさつが響き続けることを願っています。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

鶴喜小学校 岸田 暢子

のびのびひろば

おさかなつるぞ!



みんなで盆踊り♪



おやこいっしょにおすずみかい

年長組さんが考えて準備してくれた魚釣りや輪投げ、お面屋さん、そして、ポーリングで目一杯遊んだ後は、お祭りメニューをおうちの方や友だちと一緒に味わいました。

“みんなで一緒に遊ぶって楽しいね”
“一緒に食べるって幸せだね”
とを感じるにぎやかな夏のひと時でした。

そーっと、そーっと♡



お祭りメニュー…
かき氷・綿菓子・焼きそば
たこ焼き
園で採れたゴーヤチップス
フライドポテト



「えいっ!」と
ねらってなげたよ。



レインボーのかきごおり、
おいしい♡



ビンゴゲームは
みんな真剣!

(奥津保育園)